



全国表彰をうけた鳥取マツダ自動車KKの体操風景

8月のこよみ

市民成人病検診 (胃のレントゲンと心電図)	4日から
移動市役所開設	11日から
市街地航空防除 (第二回)	22日
水稲航空防除 (第二回)	22日、29日
市民定期結核健康診断	3日から
市社会福祉大会	1日

- ★第7回市民体育祭 (1日から)
- ★青少年街頭補導 (1日から市内一円)
- ★県四州市議会議長会 (6日・鳥取)
- ★ろうあ者成人学級 (9日・小沢見)
- ★第11回市畜産共進会 (10日・鳥取市場)
- ★久松公園清掃奉仕 (11日・ライオンズクラブ)
- ★市少年野球大会 (11日から・公設グラウンド)
- ★東部一市三郡球技大会 (16日・市内)
- ★農家のつどい大会 (17日・農協会館)
- ★農業後継者視察研修 (市内・下旬)
- ★三才児健康診査 (月間各校区)
- ★昭和40年度団体営土地改良事業計画書策定 (月間)
- ★市立小、中学校始業式 (26日から)
- ★第二回地区めぐり座談会 (広報登載・下旬)
- ★消防団幹部教養訓練 (下旬)

体操をしよう

世界保健憲章に、健康とは身体的にも、精神的にもそして社会的にもともに健全でなくてはならないというたわれている。

健康はすべてをつくる泉である。健康でありたいとねがう心はだれもがもつものだが、このねがいを大切に自分のものにする努力をしているのだろうか……

町内会連合会は、「みんなが体操をしよう」と呼びかけ、健康体操の普及にのりだした。

それにしても、毎年夏休みにになると、澄みきった朝の空気にのって、ラジオ体操のこちよいリズムが、あつちの町かど、こっちの広場から聞こえてくる。

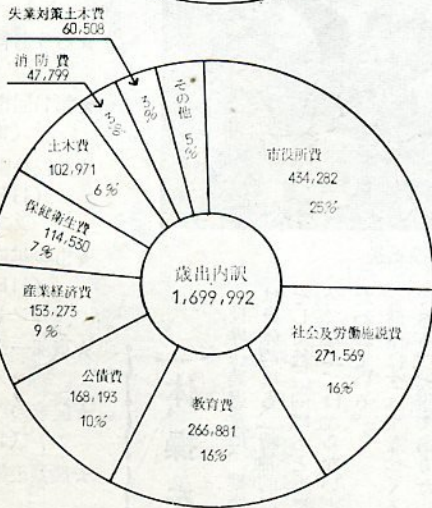
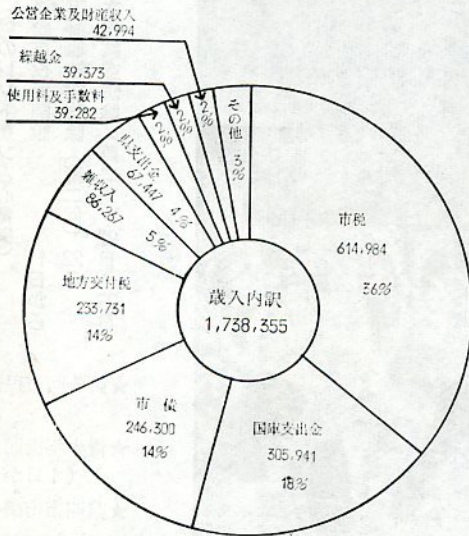
だが、たいていは子どもたちばかりの集りだ、お父さんもお母さんも一緒にあって体操のできる、健康な町や村をつくらう。

鳥取市民憲章

- 一、わたくしたちは だれにも親切にしましょう。
- 一、わたくしたちは 正しく時間を守りましょう。
- 一、わたくしたちは まちに緑を育てましょう。
- 一、わたくしたちは 公共物を大切にしましょう。
- 一、わたくしたちは 清潔な環境を作りましょう。

38年度に3836万円の黒字

昭和83年度一般会計決算状況 (単位千円)



第1表 昭和83年度特別会計決算状況 (単位千円)

会計名	収入済額	支出済額	差引	附記
土地区画整理事業費	60,911	61,139	△ 228	翌年度歳入繰上充用金で補てん。
国民健康保険事業費	172,533	156,776	15,757	
簡易水道事業費	3,636	3,363	273	
と畜場費	2,678	2,469	209	
合計	239,758	223,747	16,011	

特別会計

この財政概況の報告書は、昭和三十八年度決算の見込の状況と、昭和三十九年度予算の内容及び、一月一日から六月三十日までの財政の動向及び財政方針を明らかにするものです。

三十八年度の決算

一般会計

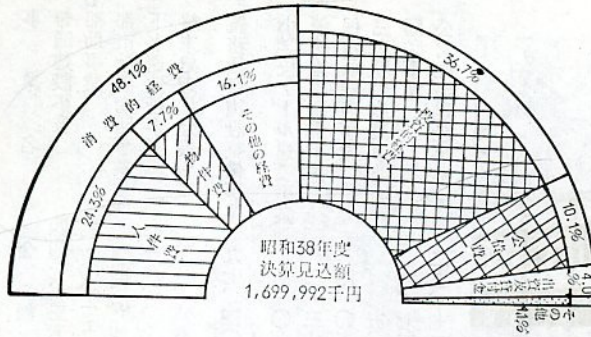
当初一四億五四三六

万円で編成し、その後公共事業費などの決定に伴う追加更正をは

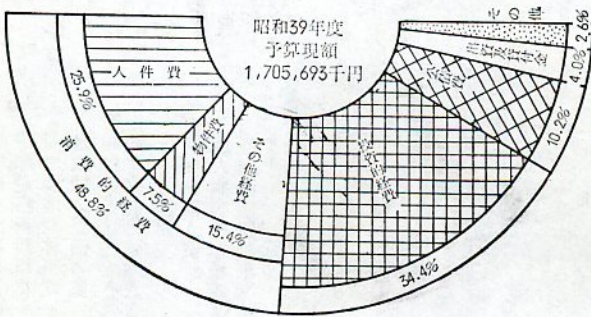
昭和三十八年度一般会計決算状況 (単位千円)

はじめ、各種事業遂行に要する諸経費などを前後八回にわたり追加し、最終予算一七億四〇四〇万円となり歳入歳出差引額三八、三六三千円の黒字決算となります。明るい市政をモットーとして年度当初の計画どおり建設事業を積極的に実施し、更に長雨に対する災害

対策による臨時的支出及び給与改訂の勧告に伴う人件費の増加などにかかわらず、良く行政の合理的運営に努力した結果、健全均衡財政を堅持することができました。



性質別分析表



昭和三十九年度予算については、国の地方財政計画による行政水準の向上と、格差是正の二つの方針にそい、さらに本市においては引き続き健康都市の建設と谷間のない市政の二大方針をかかげて、全市民の福祉、増進を図るための投資的建設事業を主体とし、地域開発の拠点となる諸施策を重点的に織り込んだ予算を編成しました。

三十九年度の予算状況

第5表

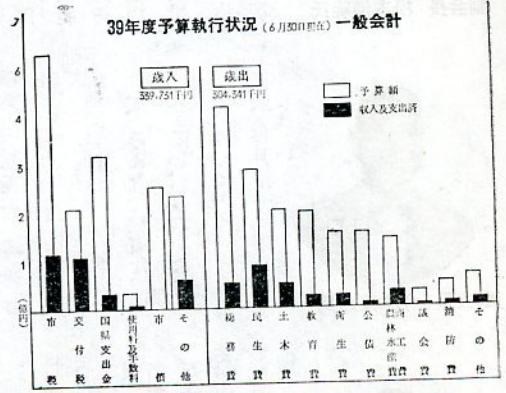
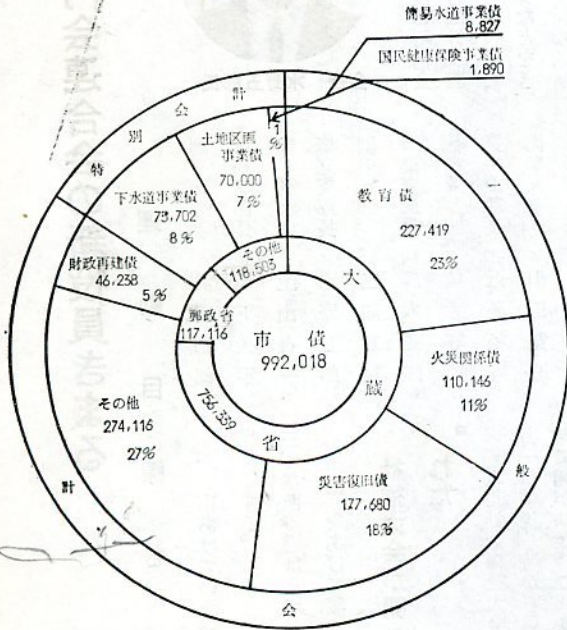
昭和39年度に実施する事業 (単位千円)

事業名	金額	備考	事業名	金額	備考
1 普通建設事業	526,470		清掃車購入費	1,350	
(1) 補助事業	201,472		高速堆肥化処理場建設事業	90,300	
都市計画街路事業	51,000		観光施設整備事業	990	
都市下水道事業	15,000		沿岸漁礁建設事業	200	
都市公園整備事業	4,050		土地及び水路改良事業	5,291	
公営住宅建設事業	42,237		老朽溜池補強事業	215	
住宅地区改良事業	1,000		道路新設改良事業	20,920	
同和事業	11,205		橋梁新設改良事業	16,650	
造林事業	349		2 災害復旧事業	3,332	
林道設置事業	1,937		(1) 補助事業	3,332	
義務教育施設整備事業	46,493	明治小、北中	耕地災害復旧事業	3,332	
文化財施設整備事業	2,000		3 失業対策事業	57,593	
学校プール建設事業	7,070		(1) 補助事業	57,593	
消防施設整備事業	3,205		4 特別会計	79,018	
敬生寮改築事業	15,926		駅南土地地区画整理事業	26,551	
(2) 単独事業	324,998		火災復興土地地区画整理事業	8,377	
庁舎建設事業	189,082		下水道建設事業	44,090	
			合計	666,413	

市債現在高

市債現在高調 (単位千円)

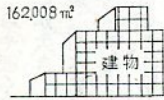
39年度予算執行状況



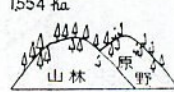
財産の状況

財産の状況

162,008㎡



1554 ha



4372 ha



現金有価証券
79,124千円

第2表

市税の負担状況

(単位円)

税目	36		37		38		39	
	1人当	1世帯当	1人当	1世帯当	1人当	1世帯当	1人当	1世帯当
市定資産消費ガスの税	1,492	6,084	1,987	7,700	2,678	10,136	2,459	9,906
固定資産消費ガスの税	1,481	6,040	1,593	6,176	1,731	6,552	1,809	6,847
電気料の税	369	1,500	441	1,708	512	1,939	536	2,029
その他	354	1,445	389	1,507	395	1,496	437	1,653
その他	79	323	94	365	118	448	115	433
合計	3,774	15,392	4,504	17,456	5,435	20,571	5,337	20,389

第3表

市税の収納状況

(単位千円)

税目	36			37			38			39 (6月30日現在)		
	調定額	収入額	%	調定額	収入額	%	調定額	収入額	%	調定額	収入額	%
市定資産消費ガスの税	186,108	167,687	90	237,941	217,127	91	329,234	303,286	92	301,726	29,956	10
固定資産消費ガスの税	196,957	170,884	87	199,911	177,068	88	217,695	197,486	91	223,356	58,811	26
電気料の税	40,525	40,525	100	48,317	48,317	100	57,888	57,888	100	16,548	16,548	100
その他	39,027	39,027	100	42,625	42,625	100	44,673	44,673	100	10,331	10,331	100
その他	12,492	9,349	75	12,907	10,174	79	15,888	11,651	73	16,877	9,409	56
合計	475,109	427,472	90	541,701	495,311	91	665,378	614,984	92	568,838	125,055	22

町内会連合会の新役員きまる



会長 水野五郎氏

市政ニュース

昭和三十九年度の町内会連合会総会は七月四日、農協会館で開かれ、新役員と運動目標などをきめた。

○新しい役員

(敬称略)

- 連合会 会長 水野五郎
- 副会長 松本儀範
- 副 久松 中島熊雄
- 副 田中親輝
- 副 今本良造
- 副 村山賢治
- 副 松本儀範
- 副 醇風支部長



副会長 松本儀範氏

運動目標

- 市あげての清掃日と
- 三、横断歩道はえがおで、手をあげて渡る。
- 鳥取市社会福祉大会が八月一日午後一時から農協会館で開かれた。これは社会福祉協議会が法人化したのを記念し、これを機会に住みみずからの努力によって健康でしあわせな鳥取市をつくろうという目的で開かれたもので、このあと功労者や団体に感謝状と記念品が手渡された。このあと鳥中の福祉社会研究会長古井喜実氏の講演もあった。



副会長 今本良造氏



副会長 田中親輝氏

社福大会が開かれた

鳥取市社会福祉大会が八月一日午後一時から農協会館で開かれた。これは社会福祉協議会が法人化したのを記念し、これを機会に住みみずからの努力によって健康でしあわせな鳥取市をつくろうという目的で開かれたもので、このあと功労者や団体に感謝状と記念品が手渡された。このあと鳥中の福祉社会研究会長古井喜実氏の講演もあった。

新潟地震によせられた心づくし

ありがとう

新潟地震の被災者によせられた、市民のみなさんの心づくしは、7月25日現在で次のような募金額となつてのりしました。

市の上村厚生課長は、みなさんからよせられたこの見舞金や見舞の品を、市民のみなさんにかわって、被災地に直接お渡しして来ました。

※これは各団体や個人が市をとおしてきよ出されたものです。

募金状況 7月25日現在

- (イ)街頭では (132,395円)
- (ロ)団体では (435,271円)
- 婦人団体協議会 389,616円
- 敬生寮互助会 1,020円
- 敬生寮職員 500円
- 湖東中2の6組 1,500円
- 鳥取地区保護司一同 6,400円
- 天理教新鳥取分教会 700円

- 鳥取市仏教会 34,535円
- 米里地区民生委員協議会 500円
- 米里社会福祉協議会 500円
- (イ)個人では 敬称略 (8,240円)
- 茶町 米沢安吉 1,000円
- 木町二丁目 岡田繁太郎 200円
- 二階町三丁目 上村清次 100円
- 片原五丁目 森本利治 5,000円
- 栗谷町 竹本節 1,500円
- 匿名 440円
- (ロ)戸別では (1,354,959円)
- (校区別内訳次のとおり)
- 久松 78,160円
- 修立 152,300円
- 醇風 183,841円
- 選番 55,460円
- 稲葉山 52,955円
- 賀露 46,483円
- 湖山 39,385円
- 吉岡 40,800円
- 大郷 23,200円
- 千代水 16,432円
- 末恒 24,370円
- 豊実 14,900円
- 明治 17,000円
- 日進 167,035円
- 明徳 126,698円
- 富桑 69,230円
- 中ノ郷 24,770円
- 東郷 13,930円
- 大正 39,870円
- 津ノ井 25,620円
- 美徳 22,830円
- 倉田 30,620円
- 神戸 15,360円
- 米里 9,300円
- 大和 23,380円
- 面影 41,730円
- 以上

鳥取市では健康都市づくりの一環として、こみや紙くづのない環境をつくる運動が大きく提唱され、それぞれも相当活発になってきました。さらにこの運動を盛り上げてよりよい鳥取市をつくるため次の要領で作品を募集いたします。

市民のみなさんから、これこそと思はれる具体的な意見をおよせ下さい

「第五回」市民作品コンクール募集

課題 こみのない町や村をつくるには

応募資格 市内に在住する市民

字数 原稿用紙で八〇〇字以内

応募期限 昭和39年10月15日迄

送付先 鳥取市秘書企画課広報係

賞品 優秀作品には市長から賞状と賞品を贈ります。

発表 とうとう市報11月号並びに日刊新聞に掲載。

八月は台風季節ともいえます。「天災は忘れたころにやってくる」とは科学者寺田寅彦の言ったことですが、このころでは忘れずによつてくるようでは。わが国では風速十七メートル以上のものを台風と呼んでいます。また一秒間に二十五メートル以上の風が吹いている範囲を暴風圏としています。この二十五メートルの風速は、平方メートル当たり六十二キロの圧力がかかるといわれます。いわば米だわらをつつた雨戸にぶつつけたほどの力です。これがまともにやってくるのですから、家や立木、その他に多くの被害が出るわけです。

台風はかならずやってくる

高波、こう水、地すべり、がけくずれなどの災害をとまなびます。この台風シーズンにまず心得ておきたいことは、
 ①新聞ラジオ、テレビの台風予報に注意する。
 ②保存食糧の確保。玉ねぎ、ジャガイモ、ハム、インスケット、生やさしいなども用意する。

③ガラス戸などガタつくところに、古ハガキ、新聞紙などをはさんでおくこと。場合によっては家に支柱を立てる。
 ④懐中電灯、ローソクを用意する。
 ⑤出水にそなえて避難場所をきめておく。

その他万全の処置を日ごろから考えておくことがたいせつです。

農地の防災はできているでしょうか

台風や集中豪雨にそなえて、わたくしたちは、まず被害を最少限度にしたいとめる対策をたてておくことがたいせつです。

一、用水樋門、悪水樋門、揚水機などは区長、消防団長、農事実行組合長、土地改良区役員などよく連絡をとって操作点検を行ない機能の不完全なものはすぐ補修または取り替えをする。

二、溜池は受益関係者のみなさんで、堤体の破かいや余水吐をふさぐ原因となるおそれのある物をとりぞき、余水吐に土俵を積んでおるところはさっそく取り除くこと。
 三、頭首工の洪水吐、土砂吐あるいは水路の余水吐

樋門などで角落し方式によるものは、洪水時に操作不能となるので、洪水予報と同時にこれを取り除いて水の流れを阻害しないようにすること。
 四、河川、用排水路などの護岸堤防は、旱天による

とり残されてさみしい思いをしないように

昭和三十六年四月から始った拠出制の国民年金制度も四年目を迎え、加入者一百万七千人を越えました。この国民年金は加入した本人が年をとったり、けがや病気がもとで身体障害者になったり夫に死にわかれた時に、本人やその遺族に年金を支給して、生活の安定をたすけようとする社会保障制度です。鳥取市ではこの制度ができてからすでに四六六年の年金を支給しています。六五才から支給される拠出制の老令年金もこの国民年金に加入していない人には支

花火あそびは、おとなといっしょにしましょう。きれつこの箇所、地盤のゆるみ、土砂埋没などによる水路の縮小などの有無を点検し被害防止の措置を行い管理に万全を期すこと。
 五、土地改良または災害復旧などの工事現場で、現在工事中のところは、工種

六、万一災害発生した箇所は、復旧手続が必要となりますのでなるべく早く耕地課に連絡して下さい。

給されないのです。隣近所の人達は老令年金を受けているの自分には受けることができないということは誠にさみしいことでしょう。老後を明るく楽しくくらすために一日も早く国民年金に加入しておきたいものです。国民年金に加入しなくてはならない人。
 一、二十才以上の明治四十四年四月二日までに生れた人で、厚生年金や共済組合など職場の年金制度に加入していない人、及びその人たちの配偶者並びに遺族年金、恩給、扶助料などを受けていない人。

二、他の年金制度で遺族年金とか扶助料、恩給などを受けている人も、老後の生活をより安定させるため任意加入が認められており、次号では通算や免除制度をお知らせします。

みんなで公明選挙の推進を!!

鳥取市公明選挙推進協議会
 会長に水野五郎氏
 副会長は入江幸雄氏
 浅沼喜実氏

推進委員を委嘱することとし各校区、町内会、部落、職域グループなどを通じて、公明選挙推進運動を実施することとなった。

一、公明選挙一千万参加運動への参加。
 二、政治講演会の開催。
 三、啓略広報の発行。
 四、「話しあい」の実施。

燃えないごみの収集路線

土	金	木		水		火		月		曜日
		午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
東山町	丸山町	湯所町	栗谷町	江崎町	馬場町	吉方町	一丁目	中町	大槻町	吉方町
吉岡町	松並町	後田島	木町	玄好町	下台	西町	下横町	鹿野町	御所橋	大工町
立川町	目まで	吉方町	二丁目	岩倉地区	方温	川外	大工町	吉	東品治	川外
若狭町	東品治	永楽	通り	東品治	川外	大工町	永楽	通り	東品治	川外
片原	茶	若狭	町	茶	若狭	町	茶	若狭	町	茶
川下	丹生	町	丹生	町	丹生	町	丹生	町	丹生	町
新鑄	南	北	本	寺町	行徳	新	品治	治	品治	治
品治	品治	品治	品治	品治	品治	品治	品治	品治	品治	品治

昭和39年8月5日発行

鳥取市秘書企画課編集発行

谷間のない市政を!!

吉岡、大郷、松保三地区の声をきく

広報

とっとり市報



美しい湖山池

湖山観光ブームの明暗

まず第一に、話題となつたのは湖山観光開発計画をめぐる観光ブームだ。土地の売り買い、買ひこまりのブームが、湖山池の湖畔に、ものすごい勢いで起つており、それが、平和なこの農村地帯に、深刻な影響をもたらしているといふことが、多くの方々から、異口同音のべられたのでした。

「湖山の田は、一反当り相当本価格で、まかに買ひこまられてゐる。きのうも、兵庫県の姫路の人がやつて来て、大郷地区松原の田を買いたいと言ひました」

「自分には湖畔に田はないが、あるのは山の谷の田ばかりだ。人は高い値段で田をばいり売つてゐるのに、自分は、よくよく連がわるい」とおぼしめる農民も多し。

「家内中が熱がかりで百姓に種を出してみても、農業収入は、あまりにもみじめた。農機具改善事業をやるとしても、あまりに金がかかり過ぎる。勢い、農業をばなれて、よそに出稼ぎにでかけた方がよいといつた農業従事者の風潮が、とうとうとして、農協の間にはびこつて来ている」

「みんなが、個々バラバラで、土地を売り買ひでゐる。このついでに、湖山池の湖畔に、観光ホテルをつくるにしても、大資本が必要だ。つかつて、道をゆがめればなるような事業も起るのではないか」

「個人個人では、土地を売らなうとしようとして、部首で申し合はうと」

「農協は、もうけに没頭し、販路上の取手をあわせることに夢中になるよりも、農協による社会教育が徹底しておこなわれたい」

「合併後の市制は、合併前よりも、農民に対して親切でなくてはならない」

「農協は、もうけに没頭し、販路上の取手をあわせることに夢中になるよりも、農協による社会教育が徹底しておこなわれたい」

「合併後の市制は、合併前よりも、農民に対して親切でなくてはならない」

吉岡の湯と湖山池の水を結べ

「吉岡温泉をどう開発するかという問題について、吉岡地区のかたがたから、非常にしんげんで、かつ熱意のあふれたかすかすの発言がありました」

以下、その主なる発言を録しおきます。

「吉岡温泉は、湖山池の裏山敷であるところから、湖山池の間に、運河でもつくり、池と温泉を直結し、観光客を吉岡温泉に大量誘致してほしい」

「吉岡の湯を下(しも)にもつておぼろの湯を考へる前に、湖山池の水を上(かみ)にもつておぼろの湯を考へるべきだ」

「吉岡温泉が、ほんとうに湖山池の裏山敷であるところなら、湖山池の間に、運河でもつくり、池と温泉を直結し、観光客を吉岡温泉に大量誘致してほしい」

「吉岡の湯を下(しも)にもつておぼろの湯を考へる前に、湖山池の水を上(かみ)にもつておぼろの湯を考へるべきだ」

真の声を反映する

市報にしたい

「山間部では、一家の責任者が、出稼ぎに行つてしまつて、留守をとりよつと、嫁さんと子どもだけがまもつてゐる。農民の家族生活は、今後どうなるのか、非常に不安だ」

「こういう不安が解放され、たのしんで百姓に種を出すことのできる市政をぜひほしい」

「若い人ばかりといつて、何もすきこんで都市へ出稼ぎにゆきたいわけではない。しかし、たとえば養馬をやりたいが、農協は、かたんに資金を借してはくれぬ。しかし、金がある。そこで早く金をつくるには、出稼ぎが唯一のよきといふことになる」

悩む農村地帯の声

吉岡、大郷、松保地区は、周知のとおり、農村地帯です。この地帯の農家のかたがたにとって、最も基本的な問題は、農産物問題であるといふことができます。

そこで、農産物問題について、みなさんの声を、きいてみました。以下は、その声の集録です。

「いまの百姓は、ほんとうに収入がすくない。二、三男はもとより、長男まで農業以外の仕事に走つてゐる」

日本の全国的な問題だと思つが、なんとかして、山間部でも安心して、村をまもつて、やつてゆけるような管理指導をぜひほしい」



横断歩道は手をあげて渡ろう

鳥取市の広報番組

第1チャンネル (日本海テレビ)

市政の窓

毎月第4土曜日 P.M1時45分から2時まで

市民一人一人がガイドになろう

